

# 福岡県立大学社会福祉学会 第14回大会開催のご案内

【共催】

福岡県立大学社会福祉学会・福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科

【後援(予定)】

(社福)福岡県社会福祉協議会 (公社)福岡県社会福祉士会  
(一社)福岡県精神保健福祉士協会 (一社)福岡県医療ソーシャルワーカー協会  
(公社)福岡県介護支援専門員協会 (一社)福岡県スクールソーシャルワーカー協会

【大会テーマ】

## 「子ども家庭福祉を巡る課題とソーシャルワークの展望」

みなさん、子ども家庭福祉ソーシャルワーカーについてご存じでしょうか？また、どんな役割を想像しますか。近年の児童福祉法の改正により、2024年度から子ども家庭福祉ソーシャルワーカーの養成がはじまります。児童虐待、貧困、医療的ケア、ヤングケアラーなど子ども家庭福祉を巡る課題は山積しています。

そこで今年度の学会では、新しい資格となる子ども家庭福祉ソーシャルワーカーとは何か、その将来性と子ども家庭福祉の現状・ソーシャルワーカー養成の在り方などについて、基調講演とシンポジウムを通じて、理解を深めたいと思います。会員・非会員問わず、みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。

【日時】

2022年12月17日(土)13:00~16:50

【会場】

福岡県立大学 講堂ほか(福岡県田川市大字伊田 4395 番地)

※Zoomによるオンライン参加にも対応可

# 1.「福岡県立大学社会福祉学会第 14 回大会」開催のご挨拶

会長 鬼崎信好

ご案内の通り、今回の大会は「子ども家庭福祉を巡る課題とソーシャルワークの展望」をテーマに開催することになりました。

基調講演は、山縣文治先生(関西大学教授、大阪市立大学名誉教授)にお願いできました。全国的見地からしても、先生は児童福祉研究の第一人者であるとともに、情熱(パッション)を秘めた実践者でもあります。このような立派な先生をお迎えできることは、本学会にとって大変喜ばしいことでもあります。関西大学のホームページの中の「研究最前線 No.60」を閲覧して頂くと、山縣先生に関する情報を得ることができます。この資料によって、山縣先生の研究・実践・教育の足跡のみならず、お人柄までも垣間見ることができるのです。(山縣先生を評して、小生は勝手に「山縣イズム」と呼んでいます)。

さて、山縣先生が触れられるかもしれませんが、本年度で児童福祉法が制定されて 75 年となります。また、福祉六法体制が整ってから 58 年目を迎えております。振り返れば、1964 年に母子福祉法(現-母子父子寡婦福祉法)が制定され、いわゆる「福祉六法体制」《権利としての生活保護法と福祉五法》に基づく《福祉の措置体制》(措置権者である行政が福祉サービスの提供の可否を判断・決定する仕組み)が整えられたのです。

しかし、1990 年以降における経済社会情勢の変化を背景に、社会福祉制度全体の見直しが行なわれるようになりました。その理由のひとつが措置制度に基づく援助・支援だけでは、国民(住民)の福祉ニーズに対応できなくなったことにあります。児童福祉制度も例外ではありませんでした。児童福祉法改正の主なものをピックアップしても、①1997 年を機に保育施策の見直しと自立支援施策の充実(保護・養護から自立支援へ)、②2000 年の児童虐待防止法の制定と 2001 年の保育施策の積極的取組み、③2016 年の児童虐待対応策の更なる強化が行なわれています。(その時々々の福祉ニーズの充足のために、児童福祉法に条文を追加する方式が専らでした。児童福祉法から独立させた母子保健法の制定は稀なケースでした。ところが、時がさらに進み、児童虐待が社会問題として大きくクローズアップされるようになり、児童虐待防止法が 2000 年に制定されました。以後、同法は 2004 年改正、2007 年改正、2016 年改正、2019 年改正という具合に改正を重ねてきていますので、時系列的に改正の趣旨と経緯を理解していかなければ、制度の全体を把握できなくなっています。

そこで、第 14 回大会での基調講演とシンポジウムを契機に、①児童虐待を含めた新しい時代の児童福祉を全体的に理解し、鳥瞰(ちょうかん)できる人を増やしていくことができればと考えます。また、②専門的な知識と実践力を備えた人材の養成が必要とされると思います。そのための方向性のひとつが「子ども家庭福祉ソーシャルワーカー」の養成であると考えます。

県学会での活発な議論を期待したいと思います。

※「研究最前線 NO.60」については、[https://www.kansai-u.ac.jp/reed\\_rfl/archive/60\\_1.php](https://www.kansai-u.ac.jp/reed_rfl/archive/60_1.php) からご覧いただけます。

## 2. 基調講演(第 14 回大会・リカレントセミナー)

### 「子ども家庭福祉をめぐる課題とソーシャルワークのこれから

#### －新資格『子ども家庭福祉ソーシャルワーカー』への期待－

講師:山縣 文治 氏(関西大学教授)

#### 【講師・山縣文治先生から皆様へ】

国連子どもの権利委員会による度重なる総括所見と国内の子ども家庭福祉の課題に対応すべく、2016 年以降、数多の改革・改善に取り組まれている。演者はそのいくつかにかかわった。とりわけ、大きな波紋を呼んだのは、2016 年の児童福祉法改正と、それを実現する工程を示す「新しい社会的養育ビジョン」(2017)、2016 年及び 2019 年の児童福祉法改正の懸案事項への対応を検討した、社会的養育専門委員会報告(2022)と同年の児童福祉法改正である。

一方で、日本固有の課題として歯止めのきかない少子高齢化の問題がある。2021 年の出生数は 81.6 万人で 2022 年は上半期の状況を踏まえると、70 万人台に突入することは確実である。これは、社会保障人口問題研究所の推計値(中位推計)を、10 年近く先取りしたもので、明治初期の状況とほぼ同数である。

この 40 年弱は、高齢化への対応を核とした福祉施策の時代であった、しかしながら、これからの時代は、女性を核とした子どもの福祉を中心に考えなければ、日本社会を維持できなくなることは確実である。

当日は、これらの背景と内容を紹介しつつ、これを実現するための取り組み課題や、懸念事項を、皆様とともに考えたい。

#### ◇講師紹介◇

山縣文治(やまがたふみはる)氏

関西大学人間健康学部教授・大阪市立大学名誉教授

【専門領域】子ども家庭福祉

【社会活動】社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会委員長、同子ども家庭福祉の認定資格の取得に係る研修等に関する検討会委員長、社会福祉法人全国社会福祉協議会理事、公益社団法人家庭養護促進協会理事長。

【著書】『保育者のための子ども虐待Q&A』(単著:みらい、2021 年)、『子どもの人権をどうまもるのか』(単著:放送大学教育振興会、2021 年)他多数。

### 3. シンポジウム(第 14 回大会)

#### 「子どもと家庭が抱える課題と支援の現状」

コーディネーター:本郷 秀和 氏(福岡県立大学社会福祉学会副会長)

シンポジスト:中山 秀樹 氏(福岡県田川児童相談所所長)

花田 悦子 氏(児童養護施設報恩母の家施設長)

河野 高志 氏(福岡県立大学准教授)

コメンテーター:山縣 文治 氏(関西大学教授)

【コーディネーター・本郷秀和先生から皆様へ】

今回は、基調講演と連続性を持たせたシンポジウムを通じて、近年の子どもと家庭が抱える課題や支援の現状、養成校におけるソーシャルワーカー養成の在り方・課題に関する理解を深めたいと思います。

子どもと家庭が抱える課題と支援の現状については、児童相談所、児童養護施設のお立場からシンポジストにお話いただき、ソーシャルワーカー養成校の立場からは、本学の取り組みの現状と子ども家庭福祉ソーシャルワーカー養成上の課題についてお話ししていただく予定です。このようなお話を踏まえ、コメンテーターの山縣先生より、子ども家庭福祉ソーシャルワーカーの必要性や期待される役割・課題、将来的な養成の在り方・想定される課題等についてご意見をいただく予定です。

本シンポジウムには経験豊富なシンポジストを迎えております。ぜひとも参加者の皆様とともに子どもと家庭の支援に関する理解が深まればと思います。質疑応答の時間もありますので、本学会の会員、本学の卒業生・在学生、その他多数の方々のご参加とご質問等をお待ちしています。

#### ◇シンポジスト紹介◇

・中山秀樹(なかやまひでき)氏

田川児童相談所、京築児童相談所、宗像児童相談所、久留米児童相談所、福岡児童相談所を経て、現在、福岡県田川児童相談所所長。

・花田悦子(はなだえつこ)氏

児童養護施設報恩母の家施設長、福岡県児童養護施設協議会副会長他。『みんなで育てる家庭養護(里親・ファミリーホーム・養子縁組)』2021年明石書店、第11章など執筆多数。

・河野高志(こうのたかし)氏

福岡県立大学人間社会学部准教授、博士(福祉社会学)、社会福祉士、著書『ソーシャルワークとしてのケアマネジメントの概念と展開』2021年(株)みらい。

## 4. プログラム

13:00~13:15	開会
13:15~14:25	基調講演(リカレントセミナー)
14:25~14:30	休憩
14:30~15:40	シンポジウム(第14回大会)
15:40~15:55	休憩 ※ご参加の皆様からの質問を受け付けます
15:55~16:40	質疑応答・講評
16:40~16:45	休憩
16:45~16:50	閉会

## 5. 大会参加費

本大会は、来場もしくはオンラインでの参加が可能となっておりますが、大会参加費については、参加形態を問わず下記のとおりとなっております。

	会員	非会員	学部生・大学院生
リカレントセミナー +シンポジウム	無料	2,000円	無料
シンポジウムのみ			
リカレントセミナーのみ		無料	

なお、これを機に本学会への加入をご希望される方は、事務局へお問い合わせください。

福岡県立大学社会福祉学会は、平成20年に設立されました。以来、卒業生と教員が協力して学会を運営し、リカレント教育の機会、ともに研鑽・労い合う場を提供し続けています。近年は、社会福祉関係者も加わり、実践を巡る問題・課題を共有する場となり、その存在価値は高まっています。

【年会費】3,000円

【活動】大会の開催(年1回)、学会報告書もしくは会報の発行(年1回)、その他

## 6. 申し込み

### 【手順】

1. 下記 URL もしくは右記 QR コードにて、Peatix のイベントページを開きます。



<https://peatix.com/event/3369439/view?k=5b067e7e969c8e063d656455c821358025f25bdd>

2. 「チケットを申し込む」をクリックし、該当するチケットを選択してください。  
支払い方法を選択したら、「次に進む」をクリックします。  
(支払い方法は、カード、コンビニ、ATM から選べます。手数料がかかる場合は、ご負担をお願いします。)
3. 事前アンケートに必要事項をご入力ください。  
入力を終わったら、「確認画面へ進む」をクリックします。
4. お名前(カナ)を入力後、表示されている情報に間違いがないことを確認し、「チケットを申し込む」をクリックします。  
これで申し込み完了です！
5. Zoom 参加で申し込まれた方には、開催 1 週間前を目安に事務局からご案内のメールをお送りします。(開催前日になってもメールが届かない場合は、大変お手数をおかけいたしますが、下記問い合わせまでご連絡ください。) 来学による参加で申し込まれた方は、当日受付にて資料をお渡しいたします。

## 7. お問い合わせ

福岡県立大学社会福祉学会事務局 鬼塚(おにつか)

E-mail: [onitsuka@fukuoka-pu.ac.jp](mailto:onitsuka@fukuoka-pu.ac.jp)

TEL: 0947-42-2118(大学代表) FAX: 0947-42-1491

※日中は授業等のため、お問い合わせいただいてからお返事を差し上げるまでに、時間がかかる場合もあります。あらかじめご了承ください。